



# 園だより



9 月 号  
2022年9月1日発行  
ひまわり第1保育園  
TEL 22-5172 FAX 22-3911  
dail@h-himawari.net

先日、年長クラスのみで夏祭りを行いました。ぽぷら組の子どもたちもこの日をとっても楽しみにしており、はっぴを着て準備をしている時からドキドキワクワクとした表情でした。夏祭りに向けて作った提灯にも火が灯り、とても良い雰囲気の中での太鼓や歌をうたう姿はとても素敵でした。このような形ではありましたが、保護者のみなさんのご理解とご協力のもと無事に夏祭りを行うことができました。また、先日全園児でたなばた会を行いました。もも組〜いちよう組の子どもたちも手遊びやうたを歌ったりと夏祭りの雰囲気をみんなで味わいました。



## ～水・砂・土など変化する素材を使って～

一日のほとんどを戸外で過ごす、ひまわりの子どもたち、0歳から6歳まで年齢は異なっていますが、あそぶ中身のほとんどが、水・砂・草花・小動物とのふれあいです。

裸足で踏みしめる。水・砂・土の感触は子どもたちの脳に心地よい刺激を与え自立神経がたくましく育つと言われています。

変化する素材(砂・水・土)は子どもの働きかけに自由自在に応じてくれます。乳幼児期の水あそびへの欲求はすごいものです。年齢が高くなると共に砂を求め、砂・土を使ったあそびを楽しめるようになります。

砂・土あそびにも豊富な水が必要で、全身ぬれながらも、空き缶・バケツなどで運びます。このあそびを繰り返すことで山川づくりや、ごちそうづくりなど創造性が豊かになります、また手や腕の発達にもつながっていきます。

年齢が進むにつれてお互いに模倣し、話しながら、土を掘ったり、一緒に水を運んだり協力しあう姿も見られるようになります。道具も巧みに使うことをおぼえ、年齢に適したあそびができ、こんなに夢中になってあそべるものではありません。

0～6歳まで約80%の脳細胞が作られるといわれます。人として豊かな脳にしていくのは、五感を使ったあそびです。特に皮膚刺激はとても大切です。夏は暑く、冬寒い、四季の移り変わりを肌で感じ、流水、水たまり、さらさら、べちゃべちゃなどのさまざまな感触が子どもの意欲をかきたて、脳を発達させていきます。幼いうちから文字・英語・運動・メディア教育(知育)に走ってしまう親も少なくありませんが、保育園時代に大切にしたいのは、こうした自然や五感をとおしたあそびの積み重ねです。

子どもの発達にとって欠くことのできない水・土・砂あそびをわたしたちはこれからもたくさん保障していきたいと思えます。

## お知らせ

- ①21日(水)は**弁当の日**です。
- ②10月22日(土)は運動会を予定しています。開催内容と方法については検討中です。
- ③9日(金)のお月見会はばら組といちよう組がお団子作りをします。エプロン、三角巾、マスクを持ってきてください。



夏祭り・たなばた会の様子



## 子どもたちのかわいいつぶやき



～ 給食前に今日のご飯を聞きに行く子どもたち (ばら組) ～

子ども：「きょうのごはんはなんですか？」

給食室：「真珠蒸しだよ」

子ども：「えー！！」 (目を丸くして驚く子どもたち)

子ども：「しんじこ!？」

真珠蒸しを宍道湖と思って驚く子どもたちでした。その驚き方がとてもかわいらしかったです。

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
行事	安全点検の日								お月見会				合同リズム		誕生会				敬老の日		ちゅうりつぷ組公開保育		避難訓練		秋分の日					たんぼば組公開保育	

